

本日、ここに、鹿島市議会令和8年9月定例会を招集し、諸案件についてご審議をお願いするものですが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

【災害対策について】

はじめに、この度の「令和8年熊本地震」や「令和8年8月千葉豪雨」、そして先日の北陸地方での豪雨など、日本各地で相次ぐ災害により被害にあわれた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。あわせて、犠牲となられた方々に哀悼の意を表します。

現在も断水や停電など厳しい生活を余儀なくされている地域があります。さらに、猛暑の中で復旧・復興に取り組まれている被災者の皆様のご苦労を思いますと、一日も早い生活再建を心から願っています。

本市でも、8月6日から熊本県に職員を順次派遣し、避難所運営や住家被害認定調査、健康管理の支援等を行っています。また、被災者の受け入れのための市営住宅等の確保や、社会福祉協議会、商工会議所青年部などによる義援金や支援物資の受付など、官民一体となって被災者の力になれるよう取り組んでいます。

近年は、線状降水帯の発生に伴う記録的な豪雨をはじめ、気候変動を背景とした自然災害が全国各地で頻発しています。本市でも6月の大雨の際には、気象庁から「レベル^{よん}4土砂災害危険警報」が発表されたことで、速やかに避難指示を発令し、避難所開設等の災害対応にあたりました。

このような災害対応には、地域の関係機関との連携が必要です。とりわけ最前線で活動する消防団の存在は極めて重要となります。高い規律と団結力で日頃の訓練と活動に取り組まれている団員の皆様に深く敬意を表しますと

ともに、今後も消防団をはじめ関係機関との連携をさらに強化していきたい
と思います。

また、今回の熊本地震においては避難所の過酷な暑さ対策の必要性が浮き
彫りとなりました。この教訓を踏まえ、本市でも、災害時に避難所となる市
内小学校の体育館等に大型スポットクーラーを導入する計画としています。

「市民の命を守る」。このことを最優先に、市民が安全・安心に暮らせる、
災害に強いまちづくりに全力で取り組んでいきます。

【社会資本の整備について】

次に、社会資本の整備について申し上げます。

肥前鹿島駅については、7月27日に駅前の「ひろばのたね」において新
駅舎の起工セレモニーが行われました。山口知事をはじめ、新駅舎の運営事
業者や設計者、そして地域の皆様など約120人にお集まりいただき、アソ
カ保育園の園児による「こども起工式」など、次世代を担う子どもたちを主
役に、未来の肥前鹿島駅を考える大変素晴らしい機会となりました。

駅に関連することとして、先日の佐賀県と国土交通省との「九州新幹線西
九州ルートの在り方に関する二者合意」では、地域振興についても明記され、
本市がかねてから要望していた上下分離区間へのＩＣカード導入を「国の支
援で推進する」ことが盛り込まれました。

このように新たな期待とともに生まれ変わる肥前鹿島駅を舞台に、子ども
たちが夢を描き笑顔でつながる鹿島の未来を、皆様とともに創り上げていき
ます。

有明海沿岸道路についても8月2日に「福富鹿島道路」の着工式が白石町
で開催されました。工事は鹿島側からスタートしており、1日も早い全線開

通への期待が高まっているところです。引き続き、国や県、国会議員に対し、その必要性和地元の熱意を強く訴えていきます。

【国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策について】

次に、国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策について申し上げます。

6月から販売を開始したプレミアム付商品券は、紙版、電子版「かしまん P a y」どちらも多くのお申し込みをいただき、7月の2次販売をもって完売いたしました。先にお配りした「かしまを元気に！まるごと応援券」とあわせてご利用いただいております、市民生活の支援とともに、消費の喚起や地域経済の下支えにつながるものと期待しています。

また、一般照明用の蛍光灯が2027年末をもって製造終了となることを受け、家庭における省エネルギー化と市民の負担軽減を図るため、LED照明への買い換え費用の一部を補助する「家庭用LED照明買替促進事業」の補正予算を本定例会に計上しています。電気使用量やCO2排出量の削減を促進し、家庭の脱炭素化を進めるとともに、市民の省エネ意識の向上につなげます。

依然として物価高騰が続く厳しい状況ですが、市民の皆様の生活を守り、地域経済をさらに活性化させるとともに、持続可能なまちづくりを着実に進めていきます。

【情報発信と広聴の取組について】

次に、情報発信と広聴の取組について申し上げます。

令和6年度の市制施行70周年を契機として、本市に対する誇りと愛着を

市民に再認識していただくとともに、地域の魅力を広く発信するシティプロモーションを展開しています。

今年度は、新たに「鹿島市アンバサダー制度」を創設し、インフルエンサー４人と、市内外から応募いただいた２６人の総勢３０人を公式アンバサダーとして任命しています。鹿島の魅力を発掘し、ＳＮＳ等で全国へ発信していただくことで、「かしまファン」のさらなる創出に繋がります。

また、昨年度発足した「鹿島市高校生広告課」は、市内外の高校生がプロのクリエイターなどから直接スキルを学び、本市の情報発信だけでなく、課題解決に向けた企画・提案にも挑んでいます。昨年度この広告課から生まれたキャッチコピー「かしましか」とそのロゴは、市報や公式ＳＮＳのほか、職員の名刺やポロシャツなどのグッズとして広く展開し、市内企業からも利用の問い合わせを受けており、市のプロモーションに大きく貢献しています。今年度の２期生は、ＪＲ定期券を持つ学生が２００円で路線バスを利用できる取組「モーダルミックス」の利用率向上のため、ポスターとＳＮＳ投稿を企画・制作しました。同世代による等身大の言葉は反響を呼び、実際の利用実績も増加しています。

「地域」「行政」「高校生」が一体となったこの課題解決型の取組は、単なる情報発信に留まらない「共創」の取組となっており、まちの未来を描き社会を動かす力となる若者たちを、これからも全力で応援します。

また、８月２９日には、「市長と語る会」を開催し、市民と直接、率直な意見を交わすことができました。当日は、高速道路へのアクセス道路の早期整備や、鹿島の良いところをもっとアピールしてほしいなど、地域を想う切実なご意見を多岐にわたりいただきました。市民の皆様からいただいた声をいかに実際の市政へと形にしていくか。市政前進の歩みを緩めることなく、

これからのまちづくりを推進していきます。

【議案について】

それでは、提案する案件について、その概要を説明します。議案は、報告 4 件、決算認定 6 件、改正条例制定 5 件、補正予算 3 件の合計 18 件です。このうちの主な議案について申し上げます。

【令和 7 年度決算認定について】

はじめに、議案第 26 号 から 議案第 31 号 については、令和 7 年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計に関する歳入歳出決算となります。

このうち、議案第 26 号 令和 7 年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。なお、決算については円単位であります。便宜上、千円単位で申し上げます。

令和 7 年度の歳入については、総額 178 億 508 万円となり、地方交付税などの増により、対前年度比 3.0% の増となりました。一方、歳出については、総額 176 億 2,680 万 4 千円となり、民生費などの増により、対前年度比 3.7% の増となりました。その結果、翌年度に繰り越すべき財源を差し引き、1 億 3,921 万 8 千円の黒字決算となりました。

基金については、市の積立金である財政調整基金から 1 億 2,500 万円の繰り入れを行いました。12 月の普通交付税の追加交付などにより、約 2 億 4,700 万円の積み立てを行いました。その結果、財政調整基金の年度末残高は約 1 億 2,200 万円増え、今後の財政運営に備えることとしています。

また、市債残高は、令和 7 年度末では約 127 億円ですが、償還費のうち、

普通交付税で全額措置される臨時財政対策債を除けば、約 93 億 6,000 万円となります。この償還費にも普通交付税により措置されるものがありますので、実質的に返済する金額は約 53 億円となっています。

今後とも「第八次鹿島市総合計画」に掲げる重点施策の実現に向け、将来にわたり持続可能な行財政運営に努めていきます。

【令和 7 年度補正予算案について】

次に、議案第 37 号 令和 8 年度鹿島市一般会計補正予算（第 2 号）について申し上げます。

今回の補正は、予算の総額に 2 億 8,690 万 8 千円を追加し、補正後の総額を 169 億 6,202 万 5 千円とするものです。

歳入については、事業の決定、既存事業の追加や減少などに伴う、国・県支出金、市債などの増減を計上するとともに、令和 7 年度決算剰余金としての繰越金などを計上しています。

歳出のうち主なものとしては、総務費では、令和 7 年度決算剰余金の確定に伴い、地方財政法第 7 条の規定により決算剰余金のうち 2 分の 1 相当額を財政調整基金への積立金として計上しています。衛生費では、家庭用 LED 照明買替促進事業を、消防費では、被災地支援職員派遣事業を、教育費では、市内小中学校への防犯カメラ設置事業を、災害復旧費では、令和 8 年 7 月豪雨に伴う現年発生農地農業用施設災害復旧事業や現年発生土木施設災害復旧事業を計上しています。

このほか、複数の市内企業から心温まるご寄附をいただいていますので、それぞれのご寄附の趣旨に従い、有効に活用させていただきます。

【条例の制定について】

次に、条例に関する主な議案について申し上げます。

議案第 35 号 鹿島市税条例の一部を改正する条例の制定については、

地方税法等の一部改正に伴い、家屋及び償却資産に係る固定資産税の免税点の引上げや、個人住民税の住宅ローン控除の適用期限の延長について、所要の改正を行うものです。

議案第 36 号 鹿島市子どもの医療費の助成に関する条例及び鹿島市ひ

とり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定については、個人番号カードを利用して医療機関等における受給資格の確認を行うことができるようにするため、所要の改正を行うものです。

【むすびに】

最後になりますが、今年もスポーツの分野で、本市の若い世代が素晴らしい成績を収めてくれています。

北鹿島ジュニアバレーボールクラブは市内の小学生チーム初となる全国大会出場、西部中学校女子バレーボール部は県中学校総合体育大会において4年連続7回目となる優勝、鹿島高等学校女子バレーボール部は全国高等学校総合体育大会に出場し、並み居る全国の強豪の中、決勝トーナメント2回戦進出という素晴らしい成果を収められました。

バレーボール以外にも、北鹿島少年野球は佐賀県学童軟式野球大会で優勝、西部中・東部中合同女子ソフトボール部は県中学校総合体育大会優勝、鹿島高等学校男子弓道部は全国高等学校総合体育大会で見事、団体6位入賞を果たされました。

こうした若い世代の活躍を通じ、全国へ羽ばたく人材を育む「地域の絆」

が本市に根付いていることを、大変誇らしく感じています。

また、文化の面では、今年も『おしまさんまいり』や『鹿島おどり』をはじめ、各地域のお祭りに参加させていただきました。私たちの日常には、このように先人たちが守り、受け継いできた尊い祭りや文化が数多く息づいています。

本市の誇る歴史的資産の一つである「肥前浜宿」も、長年地域の方々などが継承発展してこられ、今年で、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから20周年の節目を迎えます。現在、地元では周年事業実行委員会が組織され、若手メンバーを中心に、趣向を凝らした様々な企画が進められています。

このようにスポーツや文化に代表される、先人たちから受け継がれてきた「地域の絆」は、本市の大きな強みであり、このことがこれまでも様々な挑戦と発展を生み出し、成し遂げる力となってきました。

新駅舎や有明海沿岸道路の整備など、今、本市には新しい時代の風が吹き始めています。本市が持つ「地域の絆」を大切にしながら、市民の皆様とともにこの風をしっかりと受け止め、これからも市政を力強く前進させていきたいと思います。

以上、9月定例会の開会にあたり、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策及び提案する主な議案について申し上げました。今後とも市民の皆様並びに議員の皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。